昭和31年8月6日第三種郵便物認可
社団法人日本専門新聞協会加盟紙

県発注海上工事

31社に排除命令等を通知

公取委

課徴金総額14億円超

公正取引委員会は9日、県が発注する海上工事の入札参加業者31社に対し、不当な取引制限の禁止規定に違反する行為があったとして、排除措置命令と課徴金納付命令を通知した。課徴金は4社が対象から外れ、27社に納付命令、総額は14億4054万円。また、排除措置命令では、取締役会等での談合協定破棄の決議などについて、県や自社内外に宣言することを盛り込み、対象工事9割を独占禁止法違反に認定した。（3面に関連記事）

違反行為の概要について公取委は、平成18年4月1日以降、県発注の海上工事について全容を解明したと報告。受注予定者を決定するとともに受注予定金額を決定し、受注予定者以外の者は同価格で受注できるよう協力していたと指摘した。また、施工場所となる港湾等に継続受注者（家主）の存在を指摘、「家主主導の話し合いなどにより受注予定者が決定されていた」と説明した。

話し合いの内容について、受注希望者が複数者の場合、施工場所となる港湾等において、過去の海上工事の受注実績や営業所との距離等の事情を勘案。受注予定者が受注できるようにすることで、同取引分野で公共の利益に反し、競争を実質的に制限したとしている。

独禁法違反の認定について説明する銭場上席審査専門官（中央）＝鹿児島市の宝山ホールで

課徴金の算定は、違反行為が認定された受注工事を対象に、受注金額の総額に対し一律4％（事業者規模により決められ、小売業・卸売業以外の中小企業）となる課徴金算定率を乗じた。課徴金が100万円以下の場合、納付命令は行われない。また、談合の内容を自主的に公取委に報告した場合に適用される課徴金減免制度の利用について、公表希望者がなかったとして公表されていない。

立ち入り検査は33社に加え県港湾・漁港建設協会など38カ所で実施。2社は受注調整に参加していなかったとして除外された。検査対象工事は18年4月1日から21年11月4日までの462件で、総額は555億6348万円。違反行為の認定は462件中、412件（89・2％）で金額は497億7125円（89・6％）。

9割が独禁法違反

公取委は同日午前、鹿児島市の宝山ホールで県関係業者に対し説明会を開催。その後、会見を開いた。銭場忠夫審査局第5審査上席専門官は「何らかの競争制限を掛けている案件が認定された。調整の結果や落札率は関係ない」と説明した。

伊藤祐一郎県知事は「誠に遺憾。排除措置命令を踏まえ、関係業者に対し厳正な措置を講ずることとしている。また、引き続き関係者に対する指導の徹底など、再発防止に努めていきたい」とコメントを発表した。

〝現代の名工〟に肱元さん

地場産業振興に寄与

肱元　博海氏

厚生労働省は9日、22年度卓越した技能者（現代の名工）を発表した。全国では150人が受賞、本県からは一般機械器具組立工の肱元博海氏（67歳）（大和冷熱工業㈲、鹿児島市）が選ばれた。きょう10日、東京都の明治記念館で表彰式が行われる。

肱元氏は、冷凍空調装置の製造等の技能に卓越。焼酎製造やアイビー等の栽培に冷却技術を導入し、品質向上や通年栽培の確立に寄与、県内地場産業の振興に寄与している。また、後進技能者の指導・育成に尽力している。

本県関係

けんぴつ

焼酎ブームといわれて久しいが、ブームは定義されるのが2003年頃から始まったといわれる。今でも高水準で推移しているとばかり思っていたが、実はそうではないらしい▼芋の生産者からは、焼酎メーカーへの出荷量が例年に比べ今年は相当落ち込んでいるという。生産者には大きな痛手かと思いきや、いまや農家個人が国際規格ISOを取得し、海外に目を向け始めている▼建設業も国が海外進出の支援を強化し始めた。特に東南アジアの発展はめまぐるしく、日本の技術を期待している分野もあるが、国内は駄目だから、国外へ行きなさいといわれているようだ▼東京発の焼酎ブーム時代、焼酎メーカーは出荷を都会へ大きくシフトした。大消費県である地元・鹿児島の愛飲者を裏切った部分も多かった。それはどの業種も同じで、ファン（地元）を見ずに裏切ると大きなしっぺ返しがくると思った方がいい。

かごしま 建設新聞

株式会社 鹿児島建設新聞
発行人　向江泰徳
鹿児島市錦江町3番36号
電話　099－227－5100番
FAX　099－225－1919番
振替口座　02020－5－2558
ホームページ
http://www.kc-news.co.jp

・カラス
・スズメ
・ハトなど
害鳥
完全撃退に挑戦
撃退ドットマン
販売・施工　南九州総代理店
(株)アリモト工業
鹿児島市武岡4-30-10-1F
(099)284-8183

手形割引
自振も可（要相談・離島除く）
日本貸金業協会会員第000381号
鹿児島県知事(9)第00077号
きりハウス㈲
鹿児島市下荒田4-8-16
☎(099)252-5238
FAX(099)251-5016
携帯090-5295-5052

平成23年 新年特集号！『広告募集のご案内』

新春のご挨拶に…
企業PRに…

◆紙面は建設業の指針等を網羅

紙面構成
第1部ー届け！地域の声 ～公共事業はまだまだ必要です～
第2部ー新ビジネスで活路 ～明日を支える成長分野はコレだ～
第3部ー家づくり徹底分析 ～これからの住宅市場を探る～
第4部ープロジェクトを追う（建築、民間）
第5部ープロジェクトを追う（土木）

≪広告みほん≫
（1枠）　10,500円（税込）
総合建設業
鹿児島建設株式会社
〒892-0836
鹿児島市錦江町3番36号
TEL(099)227-5100
FAX(099)225-1936
5・3cm
4・9cm

■お問い合わせは
鹿児島建設新聞
鹿児島市錦江町3番36号
TEL(099)227-5100
FAX(099)225-1936

新年号広告　申込書

お名前	
会社名	
住所	〒　－
電話番号	
広告枠	
料金	

独禁法違反を認定

課徴金納付など説明

公取委

県発注の海上工事をめぐり、談合を繰り返していたとされる問題で公正取引委員会は9日、県内の関係各社の独占禁止法違反を認定し、排除措置命令と課徴金納付命令を通知した。この日、同委員会九州事務所は鹿児島市の宝山ホールに関係者を集め、納付期限などに関する説明会を開いた。（1面参照）

会場を後にする説明会の参加者＝鹿児島市の宝山ホールで

説明会は非公開で行われ、関係者約60人が出席した。排除措置命令などの通知書は同日朝、郵便で特別送達。この日、同じ内容の資料が示され、それぞれ説明が行われた。

公取は10月2日までに、県外1社を含む31社に対し、競争性を阻害したとして独占禁止法違反への関与を認定。課徴金額と排除措置命令の予定案について事前通知を行い、各社からの意見具申等を経て、このほど処分内容を決定した。

これを受けて県は、関係法令に基づく監督処分や損害賠償請求、指名停止措置等の検討に入る。

調査対象は21年11月5日から過去3年間の工事。

木陰

山口　豊

生涯現役

学生時代は、スポーツといえば自分でやるより見るほうが主で、部活もせず、いわゆる「帰宅部」だった。

高校を卒業して社会人2年目の年に、友人にソフトボール部に誘われ「健康づくり」にやってみようかと、軽い気持ちで入部したのだが、還暦を過ぎた今日まで、なんと四十数年いまだに現役でプレーしている。

2年前から六十代の「楽楽シニアクラブ」に所属している。平均年齢は65歳で私が一番若輩である。練習日は3月から11月までの日曜日の午前9時から正午まで。夏場の暑い日も休むことなく、熱中症に気を付けながら、マイボトル持参で励んでいる。遠くから眺めるユニフォーム姿は、この炎天下、どこの若者がやっているのだろうかと見間違うくらい元気なオジサンたちなのである。

練習を終えた後は、近くのラーメン屋で昼食をとりながら雑談。その後は温泉にゆったりと浸って疲れた体をいやし、帰宅後はテレビでも見ながらぼんやりと過ごし、日が西に傾くころになると、おもむろに冷凍室からジョッキを取り出し、ビール（家では発泡酒だが…）を注ぐ。泡が落ち着いたころ、グッとのどに流し込めば気分はそう快。あとはグラスに氷を入れ、焼酎をちびりちびり飲めば、既にほろ酔い気分。しばらくすると上と下のまぶたが仲良くなり、今日一日が無事終了。このひとときが、私にとってこの上ない至福の時である。これがあるから、いまだに現役を続けているのである。

おかげで、定期健診では、毎年ほとんどの検査項目で「特に異常なし」の結果である。先日、職場に健診後の指導に保健師さんが訪れたが、こういう人は珍しいと感心されていた。何も取りえのない私であるが、唯一自慢できるところである。まさしく、40年前の「健康づくり」のために始めたソフトボールに感謝・感謝の気持ちである。

最近は練習後、腰の痛みや疲れがなかなか取れないなど、年齢には勝てない症状も出てきているが、生涯現役でバットとグローブを離さないつもりでいる。

（県舗装協会事務局長）

悪質商法に注意を！

被災地域に呼び掛け

県消費生活センター

「風水害に便乗した悪質商法には注意を！」。奄美大島の豪雨災害を受け、県消費生活センターでは、被災地の住民に対して、家屋等の修繕や点検を装った悪質商法への注意を呼び掛けている。

過去、被災地から寄せられた相談事例を踏まえた呼び掛け。同センターによると、想定される事例として、ボランティアを装って家屋を修繕した業者には注意が必要で、「訪問を受けたら業者名や訪問の目的等をしっかり確認してほしい」としている。もし契約してしまった場合は、法定の契約書面を受け取ってから8日間は無条件解約（クーリング・オフ）ができる。

同センターの担当者は「今回の奄美地域ではまだ発生していないが、過去の事例から考えると可能性はある。不審な点があったらすぐ相談を」と周知を促している。

問い合わせは、同センター（☎099・224・0999）まで。

後の高額請求や市役所・町役場などの公的機関を名乗る電話勧誘・訪問販売などが考えられるという。

特に、契約を急がせる

県が臨時職員募集

雇用労政課

計177人　本庁12日、出先15日まで

県は、年末年始等の離職者対策として、失業者を対象に臨時職員の募集を行う。予定人員は本庁・出先機関合わせて177人。募集は本庁が12日まで、出先は15日まで受け付ける。

募集人員の内訳は、本庁93人のほか、出先は鹿児島34人、南薩12人、北薩10人、姶良・伊佐11人、大隅7人、熊毛2人、大島8人。

雇用期間は12月1日から23年3月31日まで。賃金は日額5650円（午前8時30分～午後5時）で、勤務は月15日以内。主に各種データの入出力や確認・照合、書類審査・整理等を行う。

応募者は、採用を希望する地域のハローワークに求職申し込みを行った後、県に履歴書を提出しなければならない。

問い合わせは、県雇用労政課雇用促進係（☎099・286・3026）まで。

鹿児島大学ラボツアー

24日まで参加受付け

鹿大産学官連携推進機構等

大学が有する研究シーズと県内企業のニーズをマッチングする機会を創出する「第2回鹿児島大学ラボツアー」が12月2日午後2時から、鹿児島市の同大学郡元キャンパスで行われる。参加無料。定員40人（先着順）。申し込みは24日まで、所定の様式でファクス（099・214・4771）、またはEメール（sangaku@po.kric.or.jp）で受け付ける。

22年度産学官連携サポーター事業の一環として、鹿児島大学産学官連携推進機構とかごしま産業支援センターが開催。同大学環境・バイオマス関連分野の五つの研究室を訪問し、地域企業と大学との交流、情報交換を行う。

終了後は、同大学中央食堂で交流会（会費3000円）も予定。

問い合わせは、同センター産学官連携課（☎099・214・4770）まで。

合同就職面談会

来月9日、鹿児島市で

鹿児島地域共同就職支援センター主催の合同就職面談会が12月9日午後1時から、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで行われる。県内の採用予定企業が多数参加する予定。参加費は無料で、対象は新卒者や一般求職者となる。

当日は、正午から面談希望者の参加受け付けを開始。何社でも面談を受けることができる。

なお参加企業については、面談開催1週間程度前からホームページ（http://www.humansupport.sakura.ne.jp）で発表する。

申し込み、問い合わせは、社会保険労務士法人ヒューマンサポート（☎099・298・5411　FAX298・5412）まで。

22年度技能功労者表彰式

15日

22年度技能功労者表彰式が15日午後5時から、鹿児島市の城山観光ホテルで行われる。受賞者は44人で、年齢は45歳～71歳（平均58・6歳）。

おくやみ

おくやみ情報をお寄せください

新聞掲載は無料です。毎週火曜日から土曜日（夏季・年末年始休暇および祝祭日の翌日を除く）に掲載します。会社の代表者ならびに社員にかかわらずどなたでも構いません。親族、身内の方もご相談ください。

無料体験実施中

建設業の詳しい情報は…

http://www.kc-news.co.jp

業者格付・県・市町村予算・発注予定工事等々情報は盛りだくさん！

お問い合わせ：099-222-6123